

令和5年度 第4回中区協議会

会議資料

【協議事項】

ア 令和6年度予算編成に対する区重点提案事業について

令和5年8月23日開催

中区協議会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	令和6年度予算編成に対する区重点提案事業について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>市では、翌年度の予算編成に向けて、区協議会をはじめとする地域の皆様から意見・要望を伺い、本庁・区役所間の予算・政策等に係る情報共有及び協議調整を行う制度として、「区重点提案事業制度」があります。</p> <p>この制度に基づき、6月開催の区協議会で、委員の皆様の意見を伺うとともに、中区各課からも意見聴取を行い、中区として11事業を本庁所管課に対して区重点提案事業として提出するものです。</p>
対象の区協議会	中区 区協議会
内 容	令和6年度予算編成に対する区の重点提案事業を別紙のとおりとし、本庁所管課の方向性（課題に対する考え方、予算要求の有無等）を聴取するもの。
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和6年度予算編成に対する区重点提案事業一覧

No.	事業名	課題	事業内容	所管課	緊急性	提案課	その他
1	クリエート浜松 ハロゲン化物消火設備更新工事	・クリエート浜松6階電気室のハロゲン化物消火設備は、電気絶縁性や散水障害などにより水系消火設備は適さないため、ハロン消火薬剤による燃焼反応を化学的に抑制することで消火する設備である。設備は35年が経過し、起動操作盤、サイレン用リミットスイッチが不良となった為、正常に音声警報が鳴動しないことから、管理上大きな責任問題となるので、早急に更新工事が必要である。	・ハロゲン化物消火設備更新工事 ガス消火設備制御盤、ガス消火放出表示板、ガス消火設備操作箱、トランス付コンビネーションスピーカー、調整試験検査費他	創造都市・文化振興課	A	中区・まちづくり推進課	
2	クリエート浜松 非常用蓄電池更新工事	・クリエート浜松非常用蓄電池設備は、平成24年の更新から製品寿命の約5～7年を大幅に経過しており、一部のセルにおいてセル電圧及び比重が低下している為、早急に更新する必要が生じたことから非常用蓄電池を更新するもの。	・非常用蓄電池設備一式更新	創造都市・文化振興課	A	中区・まちづくり推進課	
3	クリエート浜松 トイレ和洋リモデル工事	・クリエート浜松は、開館から35年経過し、一部の女子トイレは和式から洋式に改修済であるが、施設全体で44カ所のうち未改修の和式が21カ所あり、高齢者や子どもでは使用するのが難しく、子どもの発表会などでは洋式トイレを待つ列で混雑する状況も見られる。また、23カ所の洋式トイレは暖房便座・ウォッシュレット機能を設置しておらず、利用者から設置を希望する声が上がっている。UDの観点からも早急に和式から洋式へと改修する必要がある。 ・令和2年2月「市長へのご意見箱」で要望あり。 ・令和3年6月指定管理者選定会議で委員から改修要望あり。	・和式トイレから洋式トイレへのリモデル工事(21台) ・既設様式トイレ改修工事(23台)	創造都市・文化振興課	B	中区・まちづくり推進課	
4	クリエート浜松 中央監視装置更新工事	・クリエート浜松全体の空調、給排水、電気設備の管理を行う中央監視装置(平成27年更新)のPCメーカーの保守対応が令和5年9月で終了する。通信変換装置及びその他構成機器についても経年劣化に起因する故障リスクが増大する中、リモート装置についても供給の終末期を迎える部品があり、修理部品の調達が困難になっている。故障した場合、限られた人数の管理者で全館の状態を巡回・把握することは非常に困難であり、設備管理の手間の増大や故障発生時の対応遅れ、防災上のリスクの増加等の問題が発生する。故障すると復旧が困難なことから事前の更新が必要である。	・中央監視装置更新工事 制御盤(中央監視装置1式、通信制御装置CP-B1盤改造、通信制御装置CP-11盤改造)	創造都市・文化振興課	A	中区・まちづくり推進課	
5	北部水泳場 屋内・屋外プールろ過機ろ材取替工事	・プールろ過機のろ材を取り替えないまま利用すると、ろ材が汚染され汚れを十分に除去できず処理水の水质悪化が生じ、厚生労働省が定める水质の濁度の基準を満たさなくなる。また、前回のろ材取替から年数が経過し、ろ材がかなり汚れて性能が低下しているため、早期にろ材取替が必要である。	・屋内・屋外プールろ過機のろ材の取替工事 屋内プールろ過機ろ材取替 メインプール2基 屋外プールろ過機ろ材取替 流水プール3基	スポーツ振興課	B	中区・まちづくり推進課	
6	学習等供用施設「馬生会館」 空調設備更新工事	・「馬生会館」は昭和53年に竣工し、建設当時の空調設備を使用しており、冷暖房機能が低下している。業務用空調機の耐用年数は15年とされ、設備点検した業者からも機器が古く、故障しても部品供給がないため修繕できないと指摘を受けている。施設利用への影響が大きいことから、早急に更新したい。 ・和合町自治会、馬生会館運営委員会から修繕要望あり。	・会館全体の空調改修(機器費用及び工事費等)	創造都市・文化振興課	A	中区・まちづくり推進課	

No.	事業名	課題	事業内容	所管課	緊急性	提案課	その他
7	南部協働センター 自動火災報知設備等改修工事	・設置から36年が経過し、耐用年数の20年を大幅に超えている。また故障時に必要な代替部品の製造が終了しているため、修繕が必要な場合にできない。火災発生時に機能していないことは、管理上大きな責任問題となることから、早急に更新工事が必要である。	・自動火災報知設備、非常放送設備改修工事 ・非常誘導灯LED化工事	市民協働・ 地域政策課	B	中区・まち づくり推進 課	
8	高林児童遊園等の土地返還に伴う移転 について	・高林児童遊園（市）及び隣接する高林公民館（自治会）の土地は、昭和30年代より個人から無償での借地により設置し、この度地主から土地の返還要望があり、高林自治会は、公民館について市有地（現在自治会へ無償貸付）への新築移転を計画し、令和6年度中に公民館新築工事、現公民館解体及び整地の上、土地の返還を行う予定（令和4年6月21日自治会から要望書提出） ・高林児童遊園についても自治会からの要望も踏まえ、公民館移転予定地隣地（同市有地の一部）への移転を検討（令和5年6月8日自治会から要望書提出） ・高林児童遊園については、一体的な計画として公民館建設のスケジュールに合わせ、令和6年度中に遊具等撤去及び土地の返還を予定で地主も了承 ・永年地域住民の憩いの場として利用されている児童遊園であり、自治会からの要望も踏まえ、市有地への児童遊園移転を進めたい。	・高林児童遊園新設工事 ・現高林児童遊園撤去工事	子育て支援 課	B	中区・社会 福祉課	
9	いきいきプラザ中央 空調・換気設備改修工事	・板屋町にあるいきいきプラザ中央には中央保健福祉センター・ふれあい交流センターいたや・1F東側事務スペースが入所していて、それぞれ中区健康づくり課・中区長寿保険課・アセットマネジメント推進課が所管しており、3課共同で施設の管理を行っている。当該施設は築22年を経過し老朽化により様々な設備に不具合が生じ始めている。空調・換気設備についても、耐用年数15年を優に超え、故障の危険性が年々高まっている。メーカーでは、生産終了、在庫限りの部品保管のため、部品の取替修繕では対応できなくなっている。 そこで、空調・換気設備の安定確保のため更新を行う。当該施設は今後も長期に渡り使用が見込まれ、施設の性質上、高齢者や妊産婦、幼児等の利用が多く、夏場や冬場のピーク時での空調設備の故障は重大事案につながりかねない。また緊急時には特別な配慮が必要な方を受け入れる福祉避難所に指定されており、早急に計画的な更新を行う必要に迫られている。	・空調、換気設備の交換、更新	高齢者福祉 課 健康増進課	B	中区・長寿 保険課 中区・健康 づくり課	
10	駅南新川水路内の火災・災害時消防水 利側溝（Z溝）のごみ堆積対策	・駅南新川南駐車場の南側、桜橋～浅田橋の間に5箇所のZ型側溝（消防水利利用目的）があり、どれもが川の泥やごみ等の堆積物で90%程度埋まっている。 ・火災発生時に新川自然水利を必要とする場合、消防団員が川に入りスコップ等で堆積物を除去してから消防ポンプの吸管にて揚水を行い消火活動している。 ・災害発生時に穴を掘るのでは延焼拡大を阻止する事が遅れてしまう。 ・Z溝が機能すれば両岸に消防ポンプ車を10台程度まで水利付けしての消火活動が可能となる。 ・当地区は中高層建物が多数あり火災発生時の対応に消火栓を使用するも口数が足りず、新川での自然水利を利用したい目的でZ溝が造られた。 ・5箇所のZ溝を定期的に清掃すると毎年莫大な費用がかかる。	・Z溝は、泥やごみがそのまま側溝に入り堆積して埋まってしまうため、水源としてその機能の検証が必要である。 ・検証結果により費用対効果を考慮する中で、Z溝の堆積対策のための改修、または新たな水利の確保などの検討が必要となる。	消防局警防 課 南土木事務 所	B	中区・区振 興課（区協 議会委員提 案）	
11	公的団体等の組織運営や意思決定にお ける多様性についての研修	・ジェンダーフリーの目線で公的団体（地域活動団体を含む）などの活動を見ていくと、団体運営を担う役員の中に、女性（補助的ではなく）やLGBTQの人などがどのくらい含まれ参加をしているのか、また、役員による意思決定のプロセスの中で多様性のある意見が取り入れられているか疑問がある。	・公的団体などを対象とした勉強会・研修会の開催（市主催事業） ・目的：政策・方針決定過程での多様性のある意見反映を推進するため ・研修内容：多様性を考えた団体運営の利点（組織活性化・新しい気づきなど）や課題（担い手の確保など）を理解する。 ・例えば、団体の役員人事、役割決定時のプロセス、多様性の人の参加促進の具体的な方法を研修する。取り組みが進んでいる団体の事例を紹介するなど。	UD・男女 共同参画課	B	中区・区振 興課（区協 議会委員提 案）	
12	自主防災隊所有 可搬ポンプの更新	・地元の自主防災隊は防災意識高揚のため可搬ポンプ放水訓練を毎年実施（コロナで空白あり）しているが、自主防災隊所有のポンプ自体の老朽化、放水不良で訓練中断が発生する、修理パーツもなく「計画打切りの意見」も出ているが機器類を更新して継続をしたい。 ・訓練実施回数 町内防災訓練10月＋事前訓練3回＝4回/年 ・参加人数 町内防災訓練400名＋事前訓練100名×3回＝延700名	・可搬ポンプ2台（ポンプ＋台車）を更新する。	危機管理課	B	中区・区振 興課（区協 議会委員提 案）	・危機管理課「自主防災隊に対する可搬式消防ポンプ貸与制度」有り。 ・原則、1隊に対しポンプ1台。 ・1,500世帯以上の自主防災隊であれば増設要望可能。（要相談）